

建屋滞留水処理の進捗状況

2016年11月24日



東京電力ホールディングス株式会社

3-3. トレンチ廻り周辺雰囲気線量の推移状況

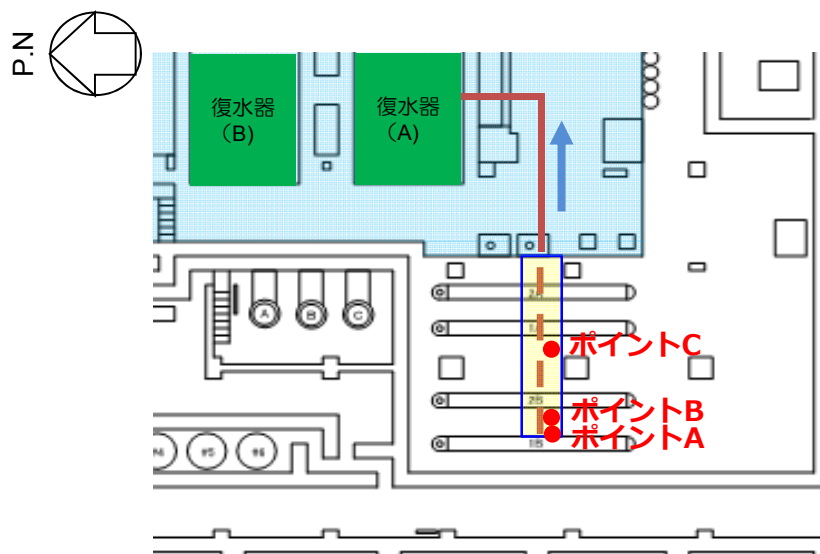
- ヒータドレン配管フラッシングによる雰囲気線量の推移について以下に示す。

日 時	雰囲気線量(mSv/h)		
	ポイントA	ポイントB	ポイントC
【フラッシング前】2016.10.14	7.8	34.8	65.0
【フラッシング後*1】2016.10.24	5.3	29.5	62.3
【フラッシング後*1】2016.11.9	4.2*2	29.0	62.1
【フラッシング後*1】2016.11.16	4.1*2	28.3	49.7*3

* 1 途中経過

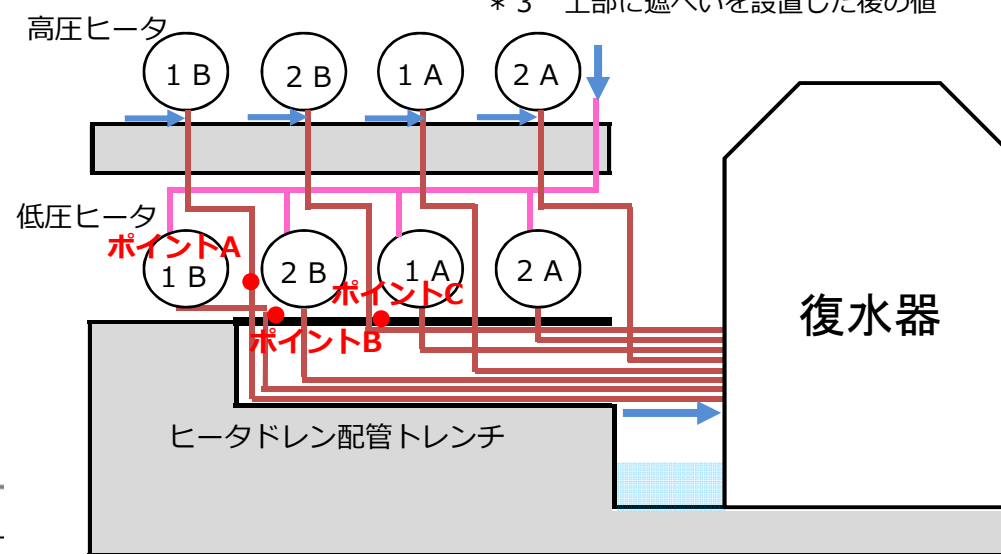
* 2 下部に遮へいを設置した後の値

* 3 上部に遮へいを設置した後の値



【1号機タービン建屋平面図】

■ ヒータドレン配管トレンチ ■ ヒータドレン配管



【1号機タービン建屋断面図】

■ ヒータバント配管 ■ ヒータドレン配管
 → フラッシング水の流れ（各配管を切断しフラッシング水の注入*を実施）

* フラッシング範囲の配管及び低圧ヒータ容量は約80m³

3-4. 作業エリアの雰囲気線量について

- 敷設移送ルートの見直し（トレンチ廻りの移送ライン敷設回避）と遮へい設置効果により地下1階中間部作業エリアについては1mSv/h程度の環境となったことから、移送ライン設置作業を今後進めていく。

